

2016年5月31日  
新日本電工株式会社  
中央電気工業株式会社

中央電気工業(株)鹿島工場における焼却灰3号溶融炉(EM3)の新設について

新日本電工株式会社およびその子会社である中央電気工業株式会社は、中央電気工業(株)の環境事業(焼却灰の溶融固化およびリサイクル)について、同社鹿島工場における既存の溶融炉2基(EM1,EM2)に加え、新たに3号溶融炉(EM3)を新設することを決定いたしました。

中央電気工業(株)は、主たる事業である合金鉄のノウハウを活用し、1995年に民間企業として初めて自治体から発生する焼却灰の溶融固件事業を鹿島工場の合金鉄炉で開始しました。その後2基の専用炉を設置し安定的な操業を継続しております。近年はフル稼働の状態で推移しておりますが、自治体からの焼却灰引き取りニーズは依然高い状況です。

このような状況下、新日本電工グループの方針である「選択と集中による事業ポートフォリオの再構築」の一環、及びあらたなコアとしての環境ビジネスの基盤強化を目的として、以下の概要にて3号溶融炉(EM3)を新設し、収益の向上を目指してまいります。

設備投資額 : 約26億円  
焼却灰処理量 : 約35,000トン/年  
営業運転開始 : 2018年4月予定

連絡先 新日本電工株式会社 総務部 (03-6860-6800)

以上